

こんにちは



第 88 号
9月定例会
令和元年10月20日

豊丘村議会 です



秋空に彩る
満開のダリア園

9月定例会

9月定例会の様子 2～3ページ

30年度決算認定の様子 4～5ページ

元年度一般補正予算審議の様子 6ページ

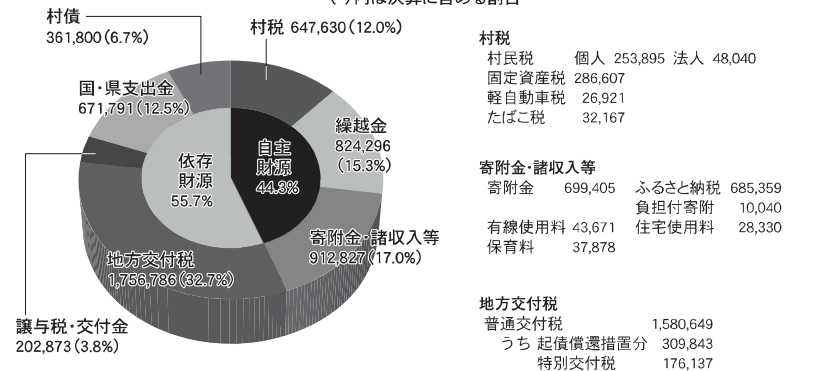
一般質問 7～20ページ

委員会報告 21～23ページ

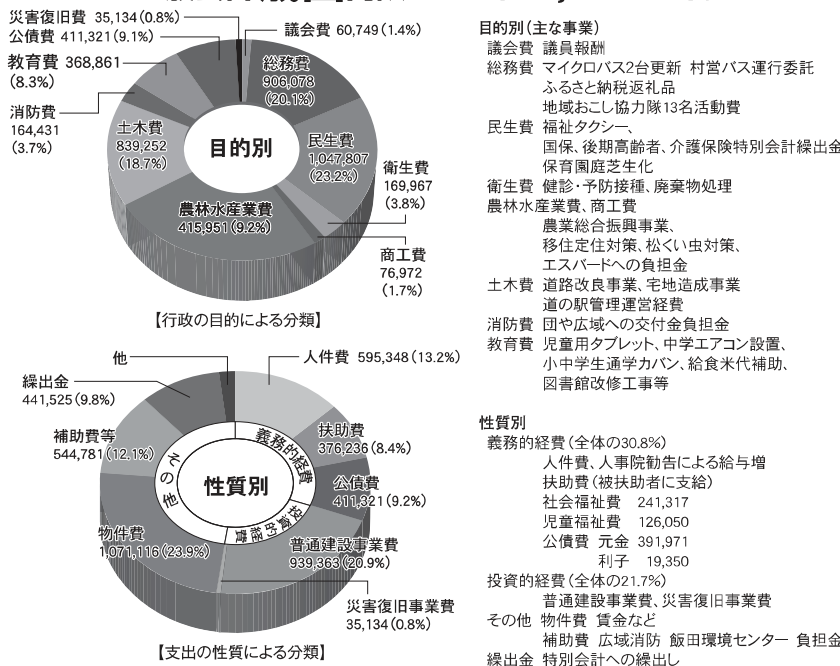
平成30年度一般会計決算 歳入歳出状況

一般会計歳入内訳 53億7,800万円 (単位:千円)

()内は決算に含める割合



一般会計歳出内訳 44億9,665万円 (単位:千円)



平成30年度決算 令和元年第3回定例会

道の駅整備事業29年度終了で 歳出前年比12.5%減、44億9,665万円

ふるさと納税過去2番目の寄附額 南北小、中学、ゆめあるて、3保育園負担付寄附でピアノ更新

第3回定例会

令和元年第3回定例会が、9月3日から9月25日までの、23日間の会期で開かれた。開会日には、条例改正案6件、補正予算案4件、平成30年度決算認定他認定7件、同意案件1件、報告3件、請願1件、陳情1件が上程された。

この内、条例案件5件と、屋神賢児氏を教育委員会の委員とする同意案件は即決で可決された。その他の案件については各委員会に付託された。

今定例会では、総務産建委員会が9月5日、社会文教委員会、リニア対策特別委員会が9月6日、予算決算委員会が9月11・12・13日の3日間、それぞれの日程で開催され、付託された議案の審議がされた。

再会日の24日の本会議には各委員会の審査結果の報告があり、条例、補正予算、決算認定は原案通り可決された。また追加上程された、豚コレラ対策費を含む補正予算案は即決で可決された。

18日と20日の一般質問には13名の議員が質問に立った。詳細については後項で掲載。

平成30年度の一般会計及び各特別会計の決算数値は、別表のとおり。

一般会計歳出では、対前年比8億2千500万円の減(△15.5%)の44億9,665万円となった。これは前年度道の駅事業を実施したためである。また歳入でも歳出同様に7億6,800万円の減(△12.5%)53億7,800万円と大きく減少した。これも前年度において道の駅事業に関わる国、県補助金や村債等の特定財源が含まれていた

平成30年度決算の概要

平成30年度各会計の決算状況

会計種別	歳入総額(千円)	歳出総額(千円)
一般会計	5,378,003	4,496,646
(前年度繰越明許)	(170,230)	(161,378)
特別会計		
国民健康保険特別会計	591,359	472,261
後期高齢者医療特別会計	77,449	77,449
介護保険特別会計	860,581	794,341
下水道事業特別会計	453,270	274,365
水道事業会計	170,126	177,698
合計	7,530,788	6,292,760

決算審査の 質疑より

より良い財政運営めざし 予算の執行状況チェック

村のホームページ の更新を

松下議員 村のホームページが更新されていない。国勢調査の記録が平成22年度のものになっていて。五年ごとに調査されるので、平成27年度のものがかかるはずだ。村の地図にも道の駅や福島てっぺん公園も載っていない。パンフレットも平成24年度のものになっていて。行政相談員も前の方の名前になっており、功労者表彰も平成25年度の方の名前のままだ。速やかに更新が必要がある。更新はどことが担当し、どういう手続きで行うのか。

総務課 ホームページはそれぞれの担当課が管理することになっている。更新される段階で担当課長がチェックし、最終的には総務課企画財政係が更新する。その

手続きが滞ると更新が遅れてしまう。今後遅れないよう留意する。

中学校東側斜面の 管理内容は

井原議員 中学校東側の斜面の管理はNPO法人で行っているのか。総務課 そうだ。井原議員 75万円近い決算になっているが、



豊丘中学校東側の斜面

年に何回ほど管理作業をしているのか。総務課 その日によって異なるが、2人か3人で年に3回ほどやっている。

井原議員 年に3回行っているけれど、状態が持続はしない。ほとんど管理していない状態が続いている。全面ではないが除草剤も散布しているようだ。

消防団関係の 懸案解決を

唐澤(健)議員 消防団員の報酬はどのように支払われているのか。総務課 基本は登録されている138名分支給されるわけだが、活動していない人もいるので、実情に合わせて支払われている。松下議員 非常備消防費関係で「付属機関委員報酬」などとして「決算書綴」には報酬15万2千円が記載されている。しかし「執行状況報告書」には記載がない。報酬の内訳はどうなっているのか。実

しつかり手入れしてもらうことが必要だ。唐澤(健)議員 あの斜面は活用を検討する計画もあったのではないか。総務課 管理を依頼している方と相談し、残

際に会議等は何回開催したのか。

総務課 消防委員会と組織検討委員会をそれぞれ1回は行っている。検討委員会は予算計上時には3回ほど行うつもりであった。

松下議員 消防団にとっては今大事な時期だ。検討会議をしつかりやる必要がある。村長 懸案を解決する処方箋が見つからず苦労しているのが実情だ。何か良い方策があれば示してほしい。

松下議員 検討を重ねて問題解決した例もある。検討会議をしつかりやっていたらいい。

農業委員報酬に 係る仕事は

武田議員 農業委員報酬に含まれる会合などは定例会以外にどんなものがあるのか。産業建設課 農業委員の仕事は人によって多少ばらつきがある。定例会のほかに、今メインの仕事は農地の集約化、遊休農地をつくらないこと、農地のパトリール、草刈りなどである。特に女性の農業委員には組織があり、年に3〜4回、飯伊地域や県レベルの研修会がある。各委員によっていくらか異なるが、回数は月に5〜6回になる。

「ゆめあるて」の 管理徹底を

川野議員 先日大変不快な思いをしたので、社会教育施設「ゆめあ

るて」の管理について尋ねたい。8月6日の「議会と語る会」が開催された日にトイレを使用したのが、トイレットペーパーがどこを探しても全くなかった。在庫もなかった。管理はどうなっているのか知りたい。

村の敬老会は 続けるか

唐澤(寛)議員 村から資金援助を受け、敬老会を実施する区や地域が増えてきた。村全体で9つの区あるいは地区があるが、今年敬老会をしないところは2

つだけになった。将来全部の地域で実施できるようにもなっても、村では従来と同じように村主催の敬老会を続けていくのかどうか。

村長 続けていくつもりだ。敬老会といっても、地域で行なう場合と村で行う場合では、目的などで違いがある。地域の場合には、参加

者が比較的近所同士であり、日頃顔を合わせよう機会が多い。村で行う際には、普段なかなか会えない者同士なので、近況を語り合ったりして情報交換でき、視野も広がる。敬老会といっても、地域主催と村主催では、目的や趣旨が異なっているから双方両立が良い。

水路の歴史や 意義を後世に

滝川議員 河野新田で始めた「人・農地プラン」はその後どうなったか。集落営農組織設立支援事業で設立された事業団体をどのように分析しているのか。農地耕作条件改善事業は、すなわち水路改修工事であるが、単に水路のみが良くなって、それだけでは十分でない。やはり先人達が苦労して維持してきた水路の歴史や意義を後世に伝えていくことが大切だ。支給された補助金の一部を費やしても、その水路の歴史や意義が学べるような、形になる方策を村主導で提起したらどうか。

産業建設課 河野新田の「人・農地プラン」については、関係する水田耕作者に参集願

議員の意志表示一覧表 (全員賛成除く)

< 令和元年9月 第3回 定例会 > ○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	武田篤子	王生貴由美	唐澤寛	滝川利秋	片桐忠彦	唐澤健	吉川明博	井原康明	片桐義憲	川野孝子	前沢光昭	松下 亨
条例 消防団員の定員、任免等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問 — 13人の議員が村政を問う —

【1日目】

1. 川野 孝子 (8ページ)
 - 1) 村から区への依頼事業の現状について
 - 2) 職員の働き方改革について
 - 3) 豊丘村の飲料水の水質改善の取り組みについて
2. 吉川 明博 (9ページ)
 - 1) 副食おかずの費用について
3. 唐澤 健 (10ページ)
 - 1) 学費の貸与について
 - 2) リニア工事に関連して
4. 武田 篤子 (11ページ)
 - 1) 保育園、学校のガラス蛍光管についての防災対策について
 - 2) 役場内での働き方改革について
5. 松下 亨 (12ページ)
 - 1) 株豊かな丘(道の駅とよおかマルシェ)の決算と今後の運営について
 - 2) 移住就農者の支援について
 - 3) 河岸段丘の整備について
6. 唐澤 克己 (13ページ)
 - 1) 村営水道に関する課題とその対策について
 - 2) 木門井水路の抜本的な改修について
7. 滝川 利秋 (14ページ)
 - 1) 土地利用計画の考え方と進め方

【2日目】

8. 平澤 恒雄 (15ページ)
 - 1) 液体ミルクの災害備蓄について
 - 2) 防災行政無線を傍受する防災ラジオの導入について
 - 3) ジェネリック医薬品使用の推進について
 - 4) 小中学校と通学路の災害・安全対策について
9. 前沢 光昭 (16ページ)
 - 1) 村内橋梁の老朽化と補修点検について
 - 2) 加齢性難聴者の補聴器購入補助について
10. 片桐 忠彦 (17ページ)
 - 1) 都市計画区域導入の計画について
 - 2) 天竜川架橋完成を見据えた県道と一貫道路の接続整備について
11. 壬生真由美 (18ページ)
 - 1) 獣害防護柵の管理について
 - 2) リニア新幹線工事について
 - 3) リニアトンネル残土を利用した福島てっぺん公園駐車場計画について
 - 4) 保育園三園合同夏祭りについて
12. 片桐 義憲 (19ページ)
 - 1) 総合振興計画後期計画、確実な実施に向けて
 - 2) 地域コミュニティの推進と防災対策について
13. 井原 康明 (20ページ)
 - 1) 豚コレラ状況とその後の対策について
 - 2) 佐原線道路改良について
 - 3) 土木事業のあり方について
 - 4) 敬老会の費用補助について

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道事業会計 補正予算議案4件を採択

一般会計補正予算 2号 1億5,668万円 審議の様子

質 問

回 答

- | | | |
|---|---|--|
| <p>Q 有線放送の改修検討支援業務150万円の委託先は？</p> <p>Q ホームページ改修250万円の内容は？ (松下議員)</p> | ➡ | <p>A 村のケーブルテレビのシステム構築時以来、村の状況を把握されている会社に委託。日本情報システム協会に勤務経験のある方が担当です。</p> <p>A スマートフォンでは見づらいことが問題。現在使用している富士通のシステムで引き続き改修を委託。</p> |
| <p>Q 勤労者福祉センター、落雷による自動ドア補修50万円の支払いは？ (片桐義憲議員)</p> | ➡ | <p>A 村が管理する建物は、すべて町村会の建物共済に加入し、ケースによるが、落雷は全額補助。</p> |
| <p>Q はつらつの維持管理費、シルバー人材センターの清掃内容は？ (壬生議員)</p> | ➡ | <p>A 10月から、休館日に身障協の方の通常清掃では届かない浴槽内の高所などを清掃。月1回で6回、12月に落葉処理1回で10万円の予算。浴槽を含め来年度以降も予定。</p> |
| <p>Q 中央保育園アスベスト検査の内容は？ (井原議員)</p> | ➡ | <p>A 検体を3か所採取し検査を行う。竣工から20年。法定義務の検査。(委託料253,000円)</p> |
| <p>Q 健康福祉に関して、『消防団ハイスク者運動指導』の内容は？ (滝川議員)</p> | ➡ | <p>A 実施3年目。操法大会時に血液検査と、腹囲計測を実施。肥満を中心に、今頑張れば健康になれる方に指導。昨年該当者のうち一人の方は大幅に改善された。日常の運動のきっかけづくりに今年も予算を計上。</p> |
| <p>Q 加工所は豊かな丘に移ったが、備品購入費485万円とは？ (唐澤健議員)</p> <p>Q 道の駅事業プロジェクト運営支援委託450万円の内容は？パッケージデザイン75万円は含むのか？ (井原議員)</p> | ➡ | <p>A 内閣府の地方創生推進交付金1000万円の事業の中に、加工所の施設を組み込み、事業採択された。加工所は株式会社でもあり、今後の運営は線引きも必要。</p> <p>A 前述の交付金の組み立ての一部。道の駅の今後の展開、かあちゃんの店やだいちの問題、ニーズ調査など。議決後契約し、半年間で成果を上げる。補助事業期間で終了。パッケージデザインはこの委託とは別枠で交付金に組み込んでいる。</p> |
| <p>Q 水路改修工事500万円の場所は？ (前沢議員)</p> | ➡ | <p>A 小園から伴野の団地に抜ける牛草川で、崩壊箇所がある。河畔林整備補助金の創設で採択された。地蔵ヶ沢の天狗橋までは一級河川。その上流が準用河川で、村の管理の牛草川。</p> |
| <p>Q 主要幹線道路の落葉除去120万円の事業の詳細は？ (川野議員)</p> | ➡ | <p>A 区長会で協議。バス路線と広域農道で、村内土木業者に発注。人力と重機やダンプを使う。</p> |
| <p>Q 国語力アップ検討会議9万円の内容は？ (唐澤克己議員)</p> <p>Q こども読書推進イベント補助金11万円の内容は？ (武田議員)</p> | ➡ | <p>A 国語力アップのため、読書に精通される村内の教員OBや司書で構成する検討委員会を予定。</p> <p>A 上記委員会で検討。図書に関して精通される方の講演会などを想定。</p> |



子供福祉の考えは 一番の活力の源だ

吉川 明博 議員

質問 副食（おかず）の費用について、報道によりますと、箕輪町と南箕輪村は、10月から幼児教育、保育の無償化に伴い、対象から除外される副食（おかず）費用について月額3000円の実質踏襲をすることを決めた。現在、3歳から5歳児の副食費について、箕輪町は約4500円を、南箕輪村は約5300円を保育料に含めて徴収。

質問 副食（おかず）の費用について、報道によりますと、箕輪町と南箕輪村は、10月から幼児教育、保育の無償化に伴い、対象から除外される副食（おかず）費用について月額3000円の実質踏襲をすることを決めた。現在、3歳から5歳児の副食費について、箕輪町は約4500円を、南箕輪村は約5300円を保育料に含めて徴収。

質問 小学生、中学生の状況は。 **教育委員会事務局長** 現在の給食費、小学生は1食250円、中学生は300円徴収。給食費の補助は米代として年額300万円程度で全額補助。1食20円程度給食費を下げている。



ツナサラダは給食の人気品です

質問 子供もさんが多く豊丘村に住んでいていただきたい、生まれてほしいという思いがある。村の運営の大きな中心の課題、近隣町村に比較して豊丘村は子どもに対する手厚い行政をやっているか、周りからやり過ぎだと言われるくらいのことややっていかないと、豊丘村の人口が減っていくことになるか、この質問だ。



村から区への委託事業の実態は 地域の人たちの協力が頼り

川野 孝子 議員

質問 今、区としての仕事が多岐にわたって大変苦労していると聞く。実際、村から区へどんな事業が委託されているのか。 **総務課長** 総務課の関係について。交通安全施設、防犯施設等土木申請のタイミングに合わせて自治会長さんを経由し区長さんの方から新設や修繕箇所の要望の取りまとめなどをお願いしている。

質問 9月議会の補正で落ち葉対策の費用が計上されているが、産業建設課長、山間地域の皆さんに苦勞をかけている落ち葉掻きの作業軽減になればと、主要バス経路等に業者委託をしていきたい。 **質問** 多くの地区で敬老会が行なわれるよう



元気な顔に出会えたね

質問 職員の働き方改革は主として長時間労働の制限の導入と思うが。 **総務課長** 1ヵ月45時間、1年間360時間と規定した。今のところ1ヵ月45時間を毎月超える職員はいない。月45時間に近づく業務の部署は教育委員会の社会教育係が多めになつてしまふ。別の規定を設けさせて頂いて

質問 職員の働き方改革は主として長時間労働の制限の導入と思うが。 **総務課長** 1ヵ月45時間、1年間360時間と規定した。今のところ1ヵ月45時間を毎月超える職員はいない。月45時間に近づく業務の部署は教育委員会の社会教育係が多めになつてしまふ。別の規定を設けさせて頂いて



ガラス 蛍光管の防災対策は

答 計画的に整備していきたい

武田 篤子 議員

質問 2018年2月に30年以内に南海トラフ巨大地震が起きる確率について70%から80%に見直しが行われた。この地震が起きた時、豊丘の最大震度は6弱と予想されている。巨大地震の発生確率が高まった中、豊丘村の保育園、学校について、窓ガラスや蛍光管の入った書棚などへの防災対策がどのようにされているのか。

とある窓ガラスには飛散防止フィルムを貼っている。

質問 保育園、学校の蛍光管については、何か対策が取られているのか。

子ども課長 南保育園の未満児、年中の部屋を除いてほとんどが未対策。

教育委員会事務局長 小学校は、順次計画的にLED化に替えている。中学校については、特に対策は取っていない。

提案 子供達の安全を考え、ガラスに飛散防止フィルムを貼って頂きたい。ガラスでできた蛍光管は、大きな地震が起これば落ちてきて割れて飛び散る危険がある。飛散防止型蛍光ランプへの取り替えが必要。飛散防止効果を備えているLEDにして行くことがベストと考える。

質問 保護者の方が安

心して子どもをかわせられるよう、安全な保育園、学校作りは必要。保育園、学校へのこのような防災対策についてどのように考えるか。

教育長 大変なことだと認識している。当然費用に係ることなので一度には難しい。保育園、学校とも相談しながら計画的に整備を進めて行きたいというように考えている。

働き方改革チームを作って取り組みを



豊丘村役場内の様子

質問 働き方改革、村長は何か取り組んでいるのか。

村長 9月10日は敬老会、運動会などで休みは全滅という感じ。

質問 一般企業で働くサラリーマンだけでなく、労働環境などの働き方改革は必要であると考え、庁舎内で働き方改革の取り組みが何か

行われているか。

総務課長 月45時間を超える時間外労働を繰り返す職員はいないので、その是正の取り組みはしていない。有給休暇の取得率アップの取り組みを若干行っている。宿直勤務明けの休息時間、有給休暇を利用して半日休む。日直勤務は、休み明け半日休暇を取るなどして



学費の貸与を

答 借金は多額になり問題がある

唐澤 健 議員

あかり区間の防音防炎フードを

答 村は付けるとのことだ

質問 リニア工事に於ける谷埋盛土の地下排水管について。JRは、「半永久に使用できる」と議会の説明会でした。しかし、排水管はどんなものを使用しても盛土圧によるクリープとか、経年劣化による破損は起こりえる。排水管の破損となれば、地下水の上昇による地震や異常降雨による盛土の崩壊に至る。9月7日付けの信毎の報道によると、中川村の半の沢に埋め立てる計画の有識者検討委員会にJR東海が示した環境基準案で、時間雨量20ミリに達した場合や累積

雨量が100ミリに達した場合、嚴重警戒として住民避難をするという内容が報道されている。これは委員会の委員長も、「土木構造物に100%の安全はない」と認めていることから、JR東海が示したものの、谷埋盛土は危険であり、やめるべきだと考えるが、下流域の関係住民の同意の後、せめて谷埋盛土の危険除去に最大限に配慮の施工。例えば下流域に穴あきダムを造るとか、盛土に地滑り防止杭、これは西宮の仁川百合野地区の地滑り資料館の説明の中では、

100本以上そういう防止杭を打っている。JR東海に施工の管理を未来永劫求める。要するに土地の買い上げの確認書を結ぶべきだ。

総務課長 今後の維持管理の方針については確認書を多分結ぶことにはなるかと思うが、その必要性などについてJR東海、また本山地縁団体と村の方で相談しながら決定していくことになる。

質問 小園のあかり区間の防音防炎フードについて。8月28日付けの南信州新聞によると飯田市の牧野市長は、座光寺下段地区について、「防音防炎フードの設置をはじめ、環境対策の適切な設置が必須との認識でJR東海に強く要請している」と報道されている。騒音を地元は心配している。その防音フードについては。



リニア実験線のあかり区間

(注)クリープとは、応力を受けた物体が時間と共に変形する現象。

村長 フードも当然村とすれば、つけるということだ。



村営水道に関する課題とその対策について

答 老朽化対策に費用と年数を要するが計画的に対処

唐澤 克己 議員

質問 わが国の水道施設の多くは、1960年代から70年代に建設されており全面更新を考える時期にきている。豊丘村の村営水道はどのような状況か。

環境課長 全国的な状況と同様である。北部、南部、堀越長沢の三つの簡易水道を統合し、村の上水道事業として運営している。管路の多くは昭和50年代に整備され、総延長は12.6kmである。旧堀越長沢簡易水道の16kmは耐震化も含め、平成23年から3年かけて敷設替えが完了している。残りの管路も40年を経過しており、敷設替えが必要だ。

質問 今後全面更新を進めていくための費用はどのくらいか。

環境課長 今後必要な約10.9kmの管路更新には、実施済の旧堀越長沢簡易水道の例を参考にすると約27億円かかる。給水も含めると



豊丘村営水道の木門配水池

費用は更に増える。これは、管路のみの試算で、浄水場や配水池の試算はこれからだ。財源は国の補助金や起債、水道料等である。

質問 更新の工事はどのように進めるか。

環境課長 現在、経営戦略や資産管理計画など来年の2月頃を目途に立案中である。管路の更新作業の着手は、早ければ令和3年頃になりそうだ。管路の更新が完了するには25年ほどかかり、管路更新の後は耐用年数60年といわれる配水池の更新となる。

質問 水道施設の更新に従事する技術者確保の見通しはどうか。

環境課長 現在村指定の水道工事業業者は34社。業者指定は5年ごとに更新されるため、継続指定には後継者の育成が不可欠。技術者不足はないと思う。

要望 村営水道施設の全面更新は大事業。「備えあれば憂いなし」の体制でお願いしたい。

「多面的機能支払事業」の補助金総額はいくらで、地域別の配分基準はどうなっているのか。また、この制度はいつまで続き、補助金額が今後増える見通しはあるのか。

産業建設課長 農業用水路は受益者が維持管理するのが基本である。「多面的機能支払事業」の補助金総額は村全体で年2400万円ほどで、農地の面積で各地域に配分される。この制度は今後5年間存続する見通しだが、補助総額が増えるかどうかは不明だ。他の補助制度として「農地耕作条件整備事業」という国の補助事業があるが、採択条件として、農業担い手への農地の集積等が必要になってくる。その他の補助となると「村単独事業」ぐらいだ。感想 補助制度に関する実情がわかったが、現時点では、農業後継者の輩出など、地域の将来展望が見通せないで積極的に対応できず苦慮している。地域とも更に相談してみたい。



道の駅「とよマル」の収支決算は

答 経常利益は1800万円余り

松下 亨 議員

村が派遣した職員の人件費を差し引くとどうか

答 計算上は600万円の赤字

質問 本格的に事業開始した第2期決算の概要はどうであったか。

産業建設課長 総売り上げは2億7300万円。主な売り上げはキッチン「そらら」が3500万円、テイクアウト「さらら」が3700万円となっている。仕入れ、販売費などを差し引いた経常利益は1840万円。法人税などを差し引いた純利益は1300万円となっている。

と、経常利益1800万円から村負担の人件費を差し引くと600万円の赤字になるのではないか。

産業建設課長 ご指摘のとおりとなる。

移住就農者の支援体制強化を

答 JA・県と連携し支援中

質問 農業後継者が不足している状況下で、移住就農者の現状は、産業建設課長 ここ10年間で4名。なお、JAで研修中の就農予定者が5名いる。

質問 10年間で4名は意外に少ない。移住後の支援体制が弱く移住

者が期待できる状況ではないのではないか。以前に提案した就農者毎の支援組織を作らないか。

産業建設課長 農業次世代人材育成資金の関係で年2回は相談会を行っている。この中で農地の情報提供や就農

質問 この結果は意外に感じた。この先の運営は大丈夫か。

村長 もともと道の駅は金もうけのためではなく、村の活性化のための施設。今後もしっかり関わっていく。

質問 村の活性化のためという点は同感だ。ただ、公営化傾向が強まると村への依存が進む懸念はあることを指摘する。

「だんQくんの日」を設け全村民で整備しないか

答 奇抜なアイディア

質問 当村が誇る日本一の河岸段丘が竹や樹木で覆われている。放置できない課題。どんな対策を考えるか。

産業建設課長 森林税を使つた景観整備や、小規模竹林整備では3年間継続補助できる制度に改めている。

村長 河岸段丘の竹やぶの件は以前から考えている。先ずは地域の盛り上がりが必要で、村も応援する形が良いと考える。

質問 むろん地域の協力が必要だが、難しい課題は行政が中心でやる必要がある。





液体ミルクを災害備蓄品に

答 近々の備蓄品更新時に購入したい

平澤 恒雄 議員

質問 家の中では防災無線が聞こえにくい。豊丘有線放送に未加入の399世帯が、屋内で防災情報を聞く手段はあるのか。

総務課長 有線放送への加入を原則としており、防災無線を傍受する個別受信機の設置は行なっていない。

質問 有線は加入金2万円と月額使用料20

答 スマートフォン対応アプリを検討

防災ラジオで確実な情報伝達を

質問 液体ミルクは、日本でも今春から製造販売が始まった。粉ミルクと同じ成分を、液体状にして滅菌パックしたものだが、村はどのような評価をしているか。

総務課長 常温保存ができ、お湯に溶かして冷ます必要がない。お湯が使えない災害時の備えに適している。

質問 大阪府箕面市では今年度から備蓄品に加えた。村では年間40人ほどが誕生する。当村でも備蓄品に加えたかどうか。

村長 0歳児の避難を考えると、1日に240名が100本程度必要。近々の乾パン備蓄品の更新時期に合わせた購入を考える。

00円がかり、有線テレビを使わず音声告知端末だけの使用では高額となる。防災ラジオか個別受信機を貸し出したどうか。

村長 有線テレビ未加入世帯への防災情報の伝達方法を検討している。飯田市で導入したスマートフォン対応アプリを考えている。

質問 文科省では避難所となる学校に、断水でも使えるマンホール

答 まず簡易トイレや携帯トイレを検討

学校避難所へマンホールトイレを

質問 ジェネリック(後発)医薬品を使用することが、村の医療費にどのように影響するか。

答 保険証交付での同時配布を検討する

ジェネリック希望シールの配布を



小園地区の防災行政無線の子局受信アンテナと拡声器



膝つき合わせて土地利用計画を

答 行政・議会・地元、三位一体で

滝川 利秋 議員

質問 河野区では地域づくり計画を作成中。村も区も具体的な形で土地利用計画を作っていく難しさは理解できる。どんな地域にしていきたいことが、その土地で暮らす人々の幸せなのか、大事なことは、そこで暮らす人々と、真剣に、膝をつき合わせて話し合う事ではないか。

村長 その通りだが、行政のみならず、議員地元の皆様の支援をいただきたい。

質問 村内各地で虫食いの的な、業者による宅地開発が目につく。集落や地域



着工間近の竜神大橋、予定地周辺

で、宅地適地を選定して村へ申請、村は認定し、必要な道路等の整備を、あとは業者

質問 山間地の人口減少は、村の最重要課題。解決策が、なかなか見えてこない。

答 宅地造成呼びかけている

山間地域の人口減、対策は

村側だけでなく、議会も重要課題として捉え、そこで真剣に暮らす人々と膝をつき合

答 高いレベルの意思決定が必要

宅地開発、土木申請方式を

に丸投げする。各地域の宅地開発を、今の土木申請方式の提案をする。

村長 線引きにつながる。都市計画地域の指定などハイレベルの意思決定が必要

村側だけでなく、議会も重要課題として捉え、そこで真剣に暮らす人々と膝をつき合

答 前向きに考えたい。

たった12,000円で村土が守られる

質問 山間地で不利な部分をできるだけ少なくしていく施策は、行政の重要な仕事だ。その典型が、中山間地域直接支払いだ。平成11年に村内では5カ所でスタートした国のこの制度は、昨年

は12地区で協定(別表参照)し、面積40ha、480万円の補助金であった。一歩おおよそ12,000円だった。たった12,000円の補助金と呼び水となつて、傾斜地で歯を食いしばって村土を守つて

くれている訳です。国の直接支払いに村単で上乗せする様提案しましたら、「それなら何とかできる」と回答を頂いた、実施に向け取り組みを。

村長 前向きに考えさせてもらいます。

意見 地方交付税算定基準に農地がある。自然環境を守るためにも

地 区	面積(ha)	金額(円)
切 山 沢	2.8	469,190
横 山	1.3	247,176
柳 久 保	2.3	446,015
山 田	1.9	313,807
柏 原	2.9	600,705
本村前田	2.2	444,367
滝 川	2.8	225,846
東	3.1	85,892
南 平	7.5	211,495
大 池 原	9.5	1,017,108
芦 川	3.3	523,813
源 道 地	1.0	216,720
合 計	40.6	4,802,134

平成30年度中山間地域直接支払交付金



都市計画区域導入の目的は

答 具体的事業はないが将来を見据え、県の指導も

片桐 忠彦 議員

質問 令和2年度から都市計画導入に向けた基礎調査が計画されている。都市計画導入とは、都市計画区域の網を掛けるという事になるが、その目的は何か。

また具体的な都市計画事業を伺いたい。

村長 将来に向けて必要だろうと、知事からも提案されている。詳しくは総務課長から。

総務課長 都市計画区域を導入しますと、村として総合的に整備や開発、保全する必要がある区域を定められ、建築確認申請、開発許可申請等強い規制がかかるようになる。農村部では不都合を感じるだけになってしまう心配もされるがリニア開業、三遠南信道開通を見据えると無秩序な開発行為抑制のためにも、検討する時期が来ている。

現在のところ具体的なこういう事業をしようという計画はない。

要望 強い制限、それが村民にとっていいのか悪いのか判断も大事

質問 これからの新たな豊丘村の南北新幹線は、架橋によって名実共に竜東一貫道路となる、村内の東西幹線と竜東一貫道路との接続をどのようにし、スムーズな交通体系を確立する対応が必要。

今までは、県道が南北の幹線道路となっていた。よって村内すべての東西幹線道路は県道にタッチさせる道路体系となっており、ほぼすべてがT字で県道にタッチして竜東一貫道路を横切って竜東一貫道路に出られる様な十字路の構造とはなっていない。

となると、

また、村民負担も絡んでくるので、十分な検討をお願いしたい。

県道から一貫道路への道路整備必要

答 必要性は分かるが住宅があり難しい

質問 これからの新たな豊丘村の南北新幹線は、架橋によって名実共に竜東一貫道路となる、村内の東西幹線と竜東一貫道路との接続をどのようにし、スムーズな交通体系を確立する対応が必要。

今までは、県道が南北の幹線道路となっていた。よって村内すべての東西幹線道路は県道にタッチさせる道路体系となっており、ほぼすべてがT字で県道にタッチして竜東一貫道路を横切って竜東一貫道路に出られる様な十字路の構造とはなっていない。

村長 伴野の堤防道路は、危険な道路とかねてより言われている。しかし、家屋移転、用地補償等の課題が大きく、そのことを考えるとなかなか進まない。リニア開業や竜神大橋開通を見据え将来の事を考えれば、必ず問題となるだろう。

伴野原にサクランボ農園なんかもでき、大型バスが福島線を何回も切り返して出て行ったり、リニア工事におきましても出口の所がネットワークになっ使えない状況もある。将来的にも改良の必要のある所と感している。

要望 下段は住宅が道路沿いに立ち並んでいて、事業費もかかる厳しい、そういったところでは、



虹川堤防道路 朝夕の利用がめだつ



村内橋梁の老朽化と補修点検について

答 早期に何らかの改修必要なものは18橋

前沢 光昭 議員

質問 以前の東京オリピック以前に作られた全国の道路、橋梁は老朽化しているにせいで、改修、補修の時期を迎えている。小規模町村ほど深刻。

冬場の塩カルなどの使用もあり橋梁の傷みが早いのも実情。河川、井水の作業、ゴミ出しなどで思わぬ傷みを発見することもある。

点検状況や問題点は、産業建設課長 村内橋梁は152橋、状況は健全が46、予防保全が83、早期措置が18。緊急措置は0となっている。

質問 虹川大橋のような規模の大きな橋は点検も難しく経費もかかる。今後の長期的計画はどうするか。利用頻度の少ない橋で廃止するものはあるか。

産業建設課長 修繕計画を徐々にやっていく。廃止対象の橋はない。

村長 点検結果と利用頻度を考慮しながら計

加齢性難聴者の補聴器購入補助について

質問 聴力が規定以下で障がい者の認定を受けられ障がい者手帳交付となり、国の制度により補聴器の購入補助を受けることが出来る。加齢による難聴の高齢者が増えるにしたがつて増えてきた。しかし、障がい認定は規定以下だと認定されません。この規定は70デジベル未満が聞こえない。高度難聴といって、普通の会話がまったく聞こえないレベルです。放置すると認知症にもつながり、生活の質も落ちることが専門家からも指摘されている。加齢による難聴者にも購入補助制度をつくれないうではないか。全国でも県内でも購入補助が増えている。

画的に修繕することが村の義務とされている。

難聴のレベル

聴力の度合いによって難聴の程度は分類されます。難聴の程度は、音の大きさ (dB) を目安にして「軽度難聴」「中等度難聴」「高度難聴」「重度難聴」の4つのレベルに分類されます。

難聴の程度分類	聴力レベル (dB)	自覚内容
正 常	25dB 未満	—
軽 度 難 聴	25 dB 以上40 dB 未満	小さな音や騒音がある中での会話の聞き間違いや、聞き取りにくさを感じる
中等度難聴	40 dB 以上70 dB 未満	普通の大きさの会話での聞き間違いや聞き取りにくさを感じる
高 度 難 聴	70 dB 以上90 dB 未満	非常に大きい声か、補聴器を装用しないと会話が出来ない。聞こえても聞き取りに限界がある。
重 度 難 聴	90 dB 以上	補聴器でも聞き取れないことが多い

健康福祉課長 現在は障がい者手帳交付、専門家の判定で行っている。

る。村単独という事になると基準が曖昧になるし、現状では難しい。

近隣の状況を見ながら検討していきたい。



後期計画着実な実施に向けての決意は

答 職員、各係一丸となり着実な推進に努める

片桐 義憲 議員

質問 後期計画2年目にあたり、見直しや修正の考え方、実施にむけた決意を伺う。

村長 基本計画本体を見直すことは通常はしないが、計画推進のために毎年見直しをかけている。

今年度は、6次産業化の推進に意を用いたり、都市計画区域導入の検討開始など修正を加えた。今後は、ダイチャ事業の推進など、新たに盛り込む予定である。

職員 各課一丸となり、また、議会や村民の意見を聞く中着実な推進に努めていく。

質問 地区計画推進のため、村の財源措置など、支援と充実の必要性について伺う。

村長 地区計画推進のために、村の財政支援は、必要不可欠である。これまでも、各種助成や交付金などで、ハード、ソフト両面で、

様々な地域提案事業に対し支援を行ってきた。最近では、自治会合併などで不用となった集会所解体工事について

質問 災害時の相互応援協定の締結件数の推移とその内容について伺う。

総務課長 平成8年に長野県市町村災害時相互応援協定が締結されたのを皮切りに現在では、市町村間で3協定、民官とは36協定となっている。内容は、消防、防災、医療、応急土木、災害対応用資機材の調達、燃料や食料品、日用品の調達、要支援者の輸送など多岐にわたっている。

質問 消防団を取り巻く状況変化がある中、団組織の二重構造化に

防災、減災は地域コミュニケーションが重要

答 自主消防組織は重要なコミュニケーション活動

でも助成対象とした。今後地域と相談し、必要な支援策を講じていく。

質問 自主消防組織は重要なコミュニケーション活動

対する考え、機能低下を補完するための、自主消防組織の活動支援に対する考え方を伺う。

総務課長 近隣町村との連携や情報の共有のため地区班の活動参加は不可欠と思うが、協会メイン事業のポンプ操法大会は、不参加の町村もあり、今後の大きな論点である。活動しやすい組織づくりにも努めていく。

団員の減少に伴う、消防力低下を補完する自主消防は非常に力強く、重要な地域コミュニケーション活動である。引き続き活動支援や、未



佐原地区ダーチャへの取り組み

組織地区への拡大に努めることが重要と思っている。

要望 日赤奉仕団においては、退団・休団の地域が増えている。しかし災害時の緊急炊き出しなど、地区防災の重要な位置付けとして活動をお願いしている地域がある。

奉仕活動ボランティア活動のみならず、重要なコミュニケーションの一役を担って頂いている実状を認識し、団員の負担軽減に向け、上部組織との関係の見直しや、役員の皆様の処遇改善に向けた取り組みを願う。



『本山発生土置き場計画の安全性を承知』の根拠は、説明会がまだ必要ではないか。

答 J Rの説明で安全性を認識。ご意見は個々に対応する

壬生真由美 議員

質問 本山発生土置き場計画について『J Rの機能強化で安全性を承知』発言の根拠は、総務課長 J Rの技術者が基準に基づき設計。説明で安全性を認識。村では判断できる技術者がいない。県や国の専門家を交えた機関の判断で更に安全性を認識。

質問 一般住民が自由に発言できる説明会がまだ、必要と考えるが。

村長 リニア対策室に意見を寄せて頂ければ個々に対応する。J Rの説明は手順を踏んで適切と考える。

本山残土計画についての疑問と要望

キャンプ場への防護柵扉の管理は

答 7・8月は終日開放

①盛土の二層構造
②同時に設置される補助排水管の性能劣化は本管と同時に起る。
③管理の目途とする30年後の方が危険。
④下條村の谷埋め盛土は利用目的があり、9.3ha、高さ15〜25m、盛土量100万m³、中川村半の沢は高さ40m、53万m²で上部は県道としての盛土で130万m³、高さ25〜50m。通常時の人目がない。
⑤施設追加は、当初計画が不十分である証。疑問をJ Rにつなぐとともに村も情報を共有し諸問題へ対応すべき。

質問 設置後1／4に減少。

質問 野田平キャンプ場の利用状況は？

産業建設課長 二年間



終日開放（7〜8月）

保育園七夕まつり三園合同開催の経緯は

答 負担軽減・花火を楽しめること。職員が提案

質問 各園開催から合同開催5回目だが、その経緯と効果は？

こども課長 当日の役員の負担や催しに向けた園児の練習や制作の負担軽減、全ての親子が一緒に花火を楽しめることを課題として職員が提案。保護者会と協議して平成27年度から実施。当時は、各園開催希望が少数だがあった。今年の大多数は『子どもが笑顔で楽しそう』という意見で、各園開催希望は無い。

質問 各園ではいつものお友だちと一緒に。保護者も子どもに目を配りながら交流できる。地元の保育園で七夕祭りが開催されず悲しがるお年寄りの声も聞くが。

こども課長 やり方は決まっていない。保護者の要望も加味し、子どもが楽しめるものにしていきたい。

議会に対し厳しい意見をいただく ＝多数の参加で「議会と語る会」を開催＝

広報広聴特別委員会報告

委員長 唐澤 健



議会と語る会の様子

語る会の報告書を作成・配布

去る8月6日に「議会と語る会」を開催し、多くの皆さんから厳しいご意見をいただきました。その多くは、議員定数の件と、立候補の出馬方法・選挙運動及び議決選挙に関するものでした。

語る会の中では、4分散会に分かれて活発な議論がなされました。限られた時間内のために十分な回答はできなかったため、改めて回答も含んだ「報告書」を作成し、9月20日に配布いたしました。内容は①議員定数 ②選挙活動 ③議決選挙 ④その他について、

8月29日に市瀬憲さんを代表とする13名の皆さんから、議員定数やその後の議会対応など9項目の要望書が寄せられました。9月議会中でしたが、これらに対する議会の回答について全議員で検討し、10月1日にお答えしました。

議会への要望書が届く

Q&A方式です。選挙活動などに関する議員個々の考えについても掲載しています。ご覧ください。



県・県議会に陳情
Ⅱ 北部町村議会の活動Ⅱ
 毎年行っているこの活動を9月19日に行いました。北部5町村の課題を全議員で検討し、まとめたものです。当議会からは①引きこもり支援策 ②障がい者への福祉医療窓口無料化 ③竜神大橋の早期完成 ④県道歩道への安全施設設置の4項目です。県庁では、太田副知事、建設部長、建設部長、教育長に個別説明し要望書を提出しました。その後、阿部知事と面会し写真撮影を行っていました。また、県議会へは担当常任委員会の正



副知事への陳情

本山発生土置き場 工事計画学習会を開催

リニア特別委員会報告

委員長 片桐 忠彦

盛土計画概要について

計画概要は、面積約8.5ha、盛土量約130万m³、最大盛土高約50m、盛土勾配1対2.3(水平2.3mに対し1m盛る計算)。盛土方法は、高さ5m盛る毎に1.5mの小段を設け、20m盛る毎に大きな小段を作る。また盛り土中央地表面には、表流水を流す開水路を設け、その脇には管理道路も設置する。今回新たな内容として、盛り土エリアに流入する沢に治山ダムを設置し、法面保護の山腹工事を行うとのこと。また盛土内の排水のため、盛土の底に太さ0.6〜1.0mの有孔管2本を埋設し、さらにそこから細

かく有孔支管を埋設して、盛土底部の排水に努める。さらに盛土内においても縦排水設備(直径1m)とそこから横集水管にて盛り土内の水位管理を行うとしている。また発生土置き場最上流部付近に、約4千m²の発生土や盛土部分から剥がした表土の一時仮置き場を使用するため、施工ヤードを新たに設ける。施工手順としては、仮設道路を作り、下流から上流に向かい施工する。

工事計画に対する意見交換・質疑

Q 排水等監視は自動管理か。
 A 現地に行けない場合も想定し、どれだけ細かく監視するか自動監視も含めて検討中。

Q 地下配水管の耐圧年数は、また耐圧は、定期的なメンテナンスしながら、半永久的に使用する。耐圧は、埋蔵深さ50mでも耐えられる製品を使用する。
 Q 地下配水管の耐用年数はあるはず。
 A 製品として、100年200年の実績はない。埋設し取替ができないため、地下水位、流量などを確認しながら、維持管理を行い使用する。
 Q 地下水が上れば、法面から水抜きボーリングをするが、その工事で法面を崩すのでは。
 A 水抜きボーリングは最後の手段。盛土内部の水位を監視し、盛土高の1/2水位にならないように管理していく。
 Q 変位計測はどのような設備か。
 A 斜面に事前にポイントを付け、移動した

提出者 豊丘村大字 神福七八四二 原章氏
 紹介者 唐澤 健議員 請願趣旨 本請願は、第19回豊丘村リニア対策委員会において、リニア残土処分のため本山区の保安林解除の行政手続きに村が同意することが承認された。しかし地元流住民の合意は明確になっていない。計画の丁寧な説明と行政手続きを慎重にするようJRと村に求めるもの。
 討論
 ・反対討論
 村のリニア対策委員会は、多方面から代表が出て検討している。必要な説明ができていないので反対だ。など6名が反対の討論をした。
 ・賛成討論
 かしいてないか、観測するもの。

議員の意志表示一覧表(全員賛成除く)

<令和元年9月 第3回 定例会>		○…賛成 ▼…反対	
件	名	賛成	反対
請願	松本 亨	○	
	前沢 光昭	○	
	川野 孝子	○	
	片桐 義憲	○	
	井原 康明	○	
	吉川 明博	○	
	唐澤 健	○	
	片桐 忠彦	○	
	平澤 恒雄	○	
	滝川 利秋	○	
	唐澤 克己	○	
	王生 貴由美	○	
	武田 馬子	○	
不採択	審議結果	▼	

いったん埋めると未水功責任が出る、下流域に説明が欠けている、慎重に行うことは当然など、6名が賛成討論した。採決の結果賛成7、反対6で採択とした。なお、本会議の採決では不採択となった。

みんなの ペー ジ



上垣外 武田泰平さん(33才)と妻・未来さん

シリーズ
私がんばっています

絵を描き発表を続ける
意味を探して



雅号 上林泰平さん
第104回二科展で二科新人賞受賞

ずっと絵を描いてきました。特別上手いわけでもなかったし、続けてきた理由も自身を保つため、すぎるようにという言い方が一番近いでしょうか。

高校時に登山の世界観に魅了され、卒業後十年間は山小屋に従事しました。登山と芸術はよく似ています。

なぜ歩みを止められないのか。行く先で何があるのか。疑問と高揚が、ない交ぜになりながら一歩ずつ歩を進めます。行くも戻るも疲弊した中で出会える景色

と思い出が、その一歩を進める勇氣になり得ることを知りました。

今年の春、結婚してりんご農家の一員になりました。入り組んだ幾千の枝、背丈を超える雑草、農機具の扱い、りんご一個の重み。仕事を通じて経験と体にくむことが画の道を開くのだと思います。

気がつけば絵は、するものではなく、日々の営みの一部になっていました。

これからの豊丘村の暮らしに思いを馳せ、今日も絵を描きます。

編集後記

▼8月に開かれた「議会と語る会」。村民の多くの方の参加を頂き、ありがとうございました。私、初めての経験でありましたので、大変、緊張しました。議会に対して、いろいろと、厳しいご意見はあるかと思いますが、『村民の方々が議会に対して関心を寄せて頂ける。』と言うことは、ありがたいことだと思っております。

▼新しいメンバーになって2回目の議会、だよりです。皆さんに議会のことを少しでも理解して頂けるように、分かりやすく、読みやすい議会、だよりの作成を心がけていきたいと思っています。ご意見などございましたら、聞かせて頂けるとありがたいです。(武田篤子)

発行責任者

議長 下平 豊久

広報部会

部会長 片桐 義憲
副部会長 武田 篤子
部員 壬生 眞由美
部員 唐澤 克己
部員 吉川 明博
部員 松下 亨

豊丘議会だより
第8号 9月定例会
令和元年10月20日

発行／長野県豊丘村議会
編集／広報広聴委員会広報部会
印刷／龍 共 印 刷 (株)

豊丘村議会

検索

T399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲3120番地
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp